

SDGs ってなんか最近よく聞くけど、自分には関係ないなーと思ってないですか？
SDGs は普段の生活とのつながりが沢山あります！
本紙では、日常で SDGs に取り組むヒントや、SDGs に関わる情報を発信していきます！



「信州 SDGs アワード 2021」受賞者決定

多様なステークホルダーによる SDGs の取組を推進し、長野県内での SDGs の取組の機運を高めるために開催した「信州 SDGs アワード 2021」の受賞者が決定し、オンライン表彰式を実施しました！

今回は、小・中・高校生部門、企業・団体等部門の2部門に63件の応募があり、15件が長野県知事賞を受賞しました。当日は阿部知事が出席し、全受賞者に木製賞状の授与を行いました。

受賞者の一覧及び取組の詳細は、ポータルサイト

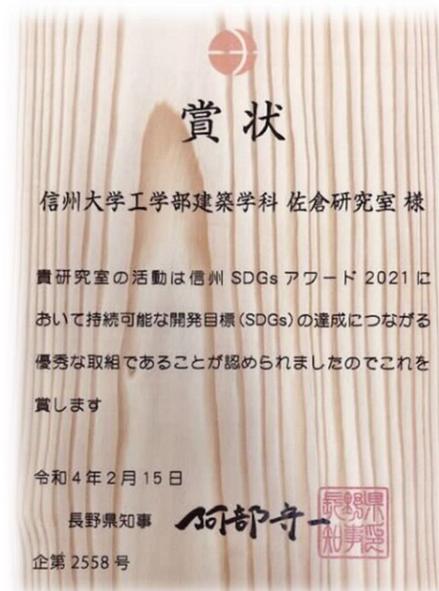
「信州 SDGs ひろば」で公開しています。
ぜひアクセスしてみてください！



(オンライン表彰式の様子)



A4厚さ3cmの木製賞状を授与
受賞者の皆さんにも
大変喜んでいただきました！



身近にできる SDGs ～エシカル編～

つい先日、自宅で飲むコーヒーを買いに近所のスーパーに買い物へ。
レインフォレスト・アライアンス認証のコーヒーを買ってみました。
この認証マークは、生産者が森林を保護し、生活を向上させ、農園労働者の人権を推進し、気候危機を緩和し適応する、より持続可能な農法に従っていることを意味します。

自分にできることをしたことで、普段飲むコーヒーの味よりも少しおいしく感じられました！

こういった認証ラベルのついた商品を購入することは、身近にできる SDGs の一つですね。

他にも様々な認証があるので、皆さんも探してみてください！



SDGs の達成に向けた取組紹介～ユースリーチ～

ユースリーチは、長野県 NPO センターが主催する、高校生・大学生が学校の枠を超えて長野に一步踏み出し、学生発のアクションプランを企画実践していく取組です。

2016年のスタートから約200人が参加し、長野県内の「youth(高校生や大学生)」が、自然環境問題や地域課題などに「reach(触れる)」する機会をつくり、長野の将来を自分ごととして捉え、活動しています。

3月12日には、活動の輪を広げていくことを目的とした「ユースリーチ文化祭2022」を開催し、循環型キャンプや多文化共生など、取り組んできた活動の成果が発表されました。地域の未来を考える若い力が増えていくことが期待されますね！



ゴールから知る SDGs ～15 陸の豊かさを守ろう～



森林や動物を含めた陸上生物すべての生態系を守ることが目標となっています。実は日本は世界でも有数の生物多様性が豊かな国として知られています。しかし、気候変動や里山文化の衰退により豊かな自然が失われつつあります。生き物たちの住む場所も少なくなっていました。

私たちが環境について考え、実践することで陸の豊かさを守っていくことに繋がります。

人の暮らしは豊かな自然と、そこで生きる様々な生き物に支えられています。私たち人間の暮らしが豊かになるにつれて、生物多様性を守る自然がどんどん破壊されてしまいました。これからの未来でも、たくさんの種類の生き物が関わりあいながら、生きていけるようにアクションを起こしていきませんか？

環境負荷の少ない製品やサービスを選んだり、リサイクルを意識することだけでも地球を守ることになります。ちょっとのひと手間ですが、自分のできることからやっていきましょう。

Instagram「信州 SDGs Diary」



街なかの給水スポット

